

## 2008年に漂着した海棲哺乳類について

南知多ビーチランドが2008年1月から12月まで取り扱った海生哺乳類は合計41例で、ハナゴンドウ1例、スナメリが40例でした(図-1)。

【図-1】 月別死亡漂着箇所



ハナゴンドウは、2008年5月1日夕方に、ビーチランド近くの若松海水浴場の50m沖を漂流しているのを地元の漁師さんが発見し連絡をいただきました。

【写真-1】 漂流していた海上のハナゴンドウ



当初、どんな種類のクジラかわかりませんでした。背鰭?があることとクチバシがないこと、白っぽい色をしていたことから、大きなスナメリかと思いました。

【写真-2】 漂流していた海上のハナゴンドウ (接近)



漁師さんには無理を言って、漂流している海上の現場に到着してみるとハナゴンドウであることがわかりました(写真1、2)。さっそく、ロープをかけて海岸まで曳航してもらいました。思ったより大きく体長は275cmでした。飼育のスタッフに手伝ってもらい、波打ち際から引き上げ、解剖後、埋却処理しました。

腐敗が進んでおり、死因は特定できませんでした。

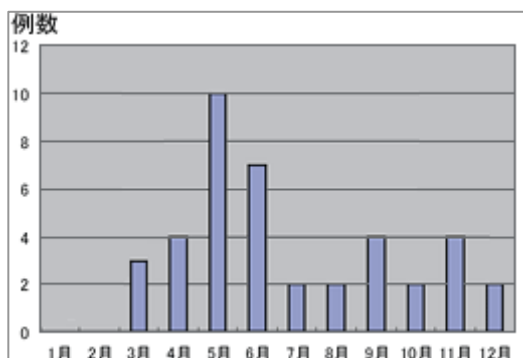
当園で取り扱ったハナゴンドウの漂着は今回で5例目となりました。

これまで1983年、1984年、1985年、1992年に漂着があり16年ぶりとなります。愛知県の周辺海域に漂着する鯨類では比較的珍しい種類となります。

スナメリはすべて死亡した状態で発見されました。

[図-2] スナメリのストランディング数 (2008年)

スナメリについては、全 40 例のうち伊勢湾 19 例、三河湾 18 例、遠州灘 1 例、河川 2 例でした。また、雄 17 例、雌 16 例、性別不明が 7 例でした。月別では 3 月が 3 例、4 月が 4 例、5 月が最も多く 10 例と増加しました。6 月が 7 例、7 月から 2 例と少なくなり 8 月から 12 月まで 2 例から 4 例と推移しました(図 2)。



また、可能な限り体長測定しましたが、体長が計測できたものは 44 例でした。最小体長は 75.0cm、最大体長は 198.0cm でした。これらの個体は、腐敗が進んでいたものが多く、死亡原因は特定できませんでした。